

学 生 募 集 要 項

2 0 2 7 年 度



TCU | 東京基督教大学

問い合わせ先

東京基督教大学 アドミッションセンター

Web サイト：<https://www.tci.ac.jp/>

住所：270-1347 千葉県印西市内野 3-301-5

電話：0476-46-1131

Email：nyushika@tci.ac.jp

対応時間：9:00～16:45（月曜日～金曜日）※昼休み 11:50～12:50 を除く

目 次

ページ

問い合わせ先

信仰基準	2
建学の精神、神学部の学科と専攻、教育目標	3
アドミッション・ポリシー	4
カリキュラム・ポリシー	5
ディプロマ・ポリシー、寮について	6

入試概要

募集人員、入試日程	7
入学検定料、受験票、試験時間	8
不正行為への対応、再受験、合格発表、補欠者、入学手続・辞退手続	9
受験上の合理的配慮、その他	10
日本語能力について	11
個別入学資格審査	12

入学者選抜要項

出願資格（各選抜共通）	13
総合型選抜	14
総合型選抜（オンライン）	16
学校推薦型選抜（公募制）	18
学校推薦型選抜（指定校制）	19
一般選抜	20

編入学者選抜要項

3年次編入教会教職専攻（総合型方式、総合型オンライン方式、一般方式）	22
2年次・3年次編入〔教会教職専攻を除く〕（総合型方式、総合型オンライン方式、一般方式）	26

学生納付金（2027年度）	30
奨学金制度	31

Web出願について

Web出願に必要な情報	34
事前課題（小論文）について	36

キャンパスまでの交通のご案内

キャンパス（入学試験会場）のご案内

信 仰 基 準

東京基督教大学が基準とする信仰は、旧・新両約聖書に一貫して啓示され、古代公同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを目指す福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の9箇条に述べるとおりです。

1. 66巻からなる聖書は、聖霊の完全な靈感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。したがって、聖書の記述には、誤りがありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとされたすべてのことを含み信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。
2. 生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であります。
3. 神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。
4. 人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。
5. わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であります。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。
6. 主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで主を信じる者はみな罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。
7. 聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活を送る力を与えてキリストのかたちに似る者としてくださいます。
8. 教会はそのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従ってすべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。
9. わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれの肉体をもってよみがえらせられ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たにして、み国を父なる神におわたしになります。

建学の精神

プロテスタント福音主義信仰に立ち、教派を超えて 21 世紀の教会と社会に奉仕する世界宣教の働き人を育成するために、実践的な神学教育を施す。

1. 福音主義

聖書を誤りのない神のことばと信じ、かつ信仰と生活の唯一の規範とする福音主義に立って、正統的な神学に基礎づけられた教職者および奉仕者を育成する。

2. 超教派

超教派の神学教育に実績を持つ東京キリスト教学園にあって、教派を超えて日本の内外の諸教会と社会に奉仕し、その発展に寄与できる人材を育成する。

3. 実践的神学教育

福音主義諸教会や諸団体の期待と要望に応えるために、実践的神学を深め、教会と社会に仕える姿勢、行動力や指導力を養い、福音を肌で感じさせる人材を育成する。

4. 世界宣教

宣教の主イエス・キリストの大命令に応じて、世界各国とりわけアジア諸国に、キリストのからだである教会を建て上げる働き人として、宣教師や奉仕者を送り出す。

神学部の学科と専攻（履修モデル）

東京基督教大学は 1 学部（神学部） 1 学科（神学・国際教養学科）で編成されています。

1 年次に入学、2 年次に編入学した者は、3 年次進級時に以下の 5 専攻（履修モデル）から主専攻を選択します。3 年次に編入学を志願する者は受験時に専攻を選択しますので、「教会教職専攻」と「それ以外の専攻」で入試区分が異なります。

教会教職専攻

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

教育目標

1・2 年次教育

キリスト教リベラルアーツ教育に基づく幅広い教養を身につけ、理論と実践を統合し、共同体での学び合いを通じて、霊性、知性、品性、社会性を育てる。また、基礎的学びを発展させつつ、キャリア形成を意識しながら専攻を選択する。

教会教職専攻

教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野（聖書・組織・歴史・実践）を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。

グローバル・スタディーズ専攻

世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力をもった人を育成する。国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。

ユース・スタディーズ専攻

ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達の過程や課題を理解し、彼らの全人格的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。

キリスト教福祉専攻

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のクリスチャン福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培う。

神学教養専攻

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

東京基督教大学は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。

本学の教養教育、寮教育やチャペル礼拝を通したキリスト教人格教育、各専攻による専門教育により、福音的な聖書理解と幅広い神学知識、人と社会に仕える姿勢と教養、神と教会に仕える情熱と知見、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

本学の入学者に求める条件、資質は以下のとおりです。

1. 既に洗礼を受けたか、幼児洗礼の場合は信仰告白をしていること。
2. キリストへの献身¹を表明し、将来教会と社会に仕えることを志していること。
3. 本学の建学の精神と信仰基準に同意すること。
4. 聖書の基礎知識を有し、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力があること。
5. 自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれること。

本学の入学者選抜においては、聖書の基礎知識、基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力、自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションをとれる力があるかどうかを審査します。なお、入学者選抜における評価方法及び評価比重については、別途学生募集要項に定めます。

¹ 本学が考える「献身」とは、牧師や宣教師のみならず、広くこの世界でキリストに仕える者としての献身を意味します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学部では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成し、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指して、「TCU コア科目」、「キリスト教リベラルアーツ科目」、「言語科目」、「専門科目」、「統合科目」の科目群により教育課程を体系的に編成します。

また、学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供します。提供される専攻は以下のとおりです。

教会教職専攻

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

以上のようなカリキュラムの構造を体系的に理解できるように教育課程表を提供し、さらに各科目、科目群で修得することが求められるディプロマポリシーを明示したカリキュラムマップを提供します。また、科目コードを用いることで科目の区分（科目群）と履修目安年次を明示します。

「教育内容」、「学修方法」、「評価」について以下のように定めます。

〔1〕教育内容

- a. クリスチャンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。
- b. 新入生には、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会として TCU コア科目を提供します。TCU コア科目の一つである「クリスチャンライフ・フォーメーション」では、社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスチャンを育成するため、チャペル礼拝出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。
- c. 人間と社会を理解するために必要なキリスト教リベラルアーツ科目として人文学、社会科学、Great Books、教会音楽の科目を提供します。
- d. 初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする初年次教育科目を提供します。
- e. 言語科目では、日本語トラックの学生は英語を中心に、英語トラックの学生は日本語を中心に学びます。またグローバルな視点を養う諸言語を提供します。
- f. 神学の知識とその応用力を身につけるため、聖書学、組織神学・歴史神学、実践神学の科目、さらに聖書を専門的に学ぶための言語科目として聖書原語科目を提供します。
- g. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスチャンを育成するため、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の専門科目を提供します。
- h. 3、4年生を対象に学びの実践と統合を目的とした演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、卒業研究等の統合科目を提供します。これらの統合科目を通してキャリア形成を行い、より明確な将来像と結びついた具体的な進路選択を促します。

〔2〕学修方法

- a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とします。
- b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。
- c. すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- d. 授業内容の改善に活かすために、学生による授業評価を実施します。

[3] 評価

- a. シラバスに記載された到達目標に従って各科目の成績評価を行います。
- b. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、DP ルーブリックに基づく学生の自己評価、教員との面談を含む他者評価、外部評価が総合的に用いられます。

「カリキュラムポリシー（CP）」の履行

- ・学部の科目やその内容に加え、その他の教育的プログラムや学生を対象とした企画等に関する文章には、根拠となる「カリキュラムポリシー」の記号（例：CP-1a、CP-3c）を併記し、本ポリシーの着実な履行を目指します。
- ・教職員は、本学の「教育のPDCA サイクル」を念頭に、自らの営みを「カリキュラムポリシー」や「ディプロマポリシー」と照らし合わせて常に確認し、必要な改善を継続的に実施します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

東京基督教大学では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

1. プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。
2. 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
3. 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
4. クリスマンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。
5. 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

寮について

神学の学びは、教場における営みだけでなく、生活全域に及ぶものです。本学では、寮教育を重視しています。寮教育では、寮での生活を通して「キリスト者の自由をもって共に生きる」ことを体得し、キリストの愛と義を常に判断の基準とできる福音的キリスト者を育成することを目的としています。

本学には、男子寮、女子寮、家族寮があります。入寮に関する詳細は合格後に本学から発送される書類を参照ください。

また、通学を希望する場合はWeb出願時に「通学」を選択してください。

毎年度末、次年度に通学するか入寮するかを確認します。

入 試 概 要

1. 募集人員＜神学部 神学・国際教養学科＞

1 年次入学

入試区分	定員
総合型選抜	18名
総合型選抜（オンライン）	若干名
学校推薦型選抜（公募制）	5名
学校推薦型選抜（指定校制）	若干名
一般選抜	5名
秋季入学選抜	5名
計	33名

編入学＜2年次、3年次＞

入試区分	定員
編入学者選抜（総合型方式）	10名
編入学者選抜（総合型オンライン方式）	若干名
編入学者選抜（一般方式）	4名
秋季編入学者選抜	若干名
計	14名

2. 入試日程

1 年次入学

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合型選抜	第1回	9月1日(火)～ 9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金) 必着
総合型選抜（オンライン）					
総合型選抜	第2回	10月1日(木)～ 10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月) 必着
総合型選抜（オンライン）					
学校推薦型選抜(公募制)		11月2日(月)～ 11月12日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月) 必着
学校推薦型選抜(指定校制)					
総合型選抜	第3回	12月1日(火)～ 12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木) 必着
総合型選抜（オンライン）					
一般選抜	第Ⅰ期	1月5日(火)～ 1月14日(木)	2月6日(土)	2月12日(金)	2月25日(木) 必着
一般選抜	第Ⅱ期	2月1日(月)～ 2月16日(火)	3月6日(土)	3月10日(水)	3月18日(木) 必着

編入学

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
編入学者選抜(総合型方式)	第1回	9月1日(火)～ 9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金) 必着
編入学者選抜(総合型オンライン方式)					
編入学者選抜(総合型方式)	第2回	10月1日(木)～ 10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月) 必着
編入学者選抜(総合型オンライン方式)					
編入学者選抜(総合型方式)	第3回	12月1日(火)～ 12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木) 必着
編入学者選抜(総合型オンライン方式)					
編入学者選抜(一般方式)	第Ⅰ期	1月5日(火)～ 1月14日(木)	2月6日(土)	2月12日(金)	2月25日(木) 必着
編入学者選抜(一般方式)	第Ⅱ期	2月1日(月)～ 2月16日(火)	3月6日(土)	3月10日(水)	3月18日(木) 必着

秋季入学選抜・編入学者選抜

秋季入学選抜・編入学者選抜は全て英語で行われる入試です。

学生募集要項が異なりますので、詳細についてはadmission@tci.ac.jpまでお問い合わせください。

3. 入学検定料

- (1) 入学検定料35,000円は、Web出願サイトから出願手続き完了後にお支払いいただきます。日本国内から受験する方は、以下の銀行口座へ送金してください。入金の確認ができない場合は受験できません。
- ※ 海外在住の方はWeb出願サイトからクレジットカード払いにてお支払いください。

【送金先口座情報】

銀行名	千葉興業銀行
支店名	千葉ニュータウン支店
口座種別	普通預金
口座番号	1273611
口座名義	ガクトウキョウクリストキョウガクエン (学) 東京キリスト教学園

- (2) いったん納入された入学検定料は原則としてお返ししません。
- (3) 受験した入試選抜で不合格になり、異なる入試選抜を再受験する場合の入学検定料は20,000円です。詳細は「再受験」(9ページ)をご確認ください。

※災害救助法適用地域で被災された方へ

申請条件を満たした被災者は入試における入学検定料の免除申請を行うことが出来ます。申請条件及び申請方法等の詳細は本学ウェブサイトをご参照ください。

(トップページ→入学案内→入試案内→大規模災害罹災に伴う入学検定料の免除について)

4. 受験票

受験票はWeb出願サイトから印刷して、試験当日にご持参ください。

5. 試験時間

本学キャンパスで実施する総合型選抜、一般選抜(編入含む)の試験時間は以下の通り予定しています。

試験に関する情報は、試験日の7日前までに出願者にメールでご連絡します。試験日の6日前になってもメールが届かない場合はアドミッションセンターへご連絡ください。下記の予定から変更になる場合もありますので、必ず出願後にメールで届く案内をご確認ください。

<総合型選抜・編入学者選抜(総合型方式)>

時間	内容
9:00 ~ 9:15	受付
9:15 ~ 9:20	注意事項説明
9:30 ~ 11:00	小論文(90分)
11:10 ~ 12:10	個別面接(一人30分)
12:10 ~ 13:00	昼食
13:00 ~	個別面接(一人30分)

<一般選抜・編入学者選抜(一般方式)>

時間	内容
9:00 ~ 9:25	受付
9:25 ~ 9:30	注意事項説明
9:40 ~ 10:20	聖書(40分)
10:30 ~ 12:00	小論文(90分)
12:00 ~ 13:00	昼食
13:00 ~	個別面接(一人20分)

面接時間について要望がある場合(遠方から来るため午前中に面接希望等)は出願時にアドミッションセンターまでご相談ください。ご要望に沿えない場合もあります。

※学校推薦型選抜、総合型選抜(オンライン)、編入学者選抜(総合型オンライン方式)は出願締切後、面接時間等をお知らせします。

6. 不正行為への対応

次のいずれかに該当する場合、不正行為とみなします。※オンラインでの試験を含む。

- (1) カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- (2) 試験時間中に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為を行うこと。
- (3) 試験時間中に使用を許可されているもの以外のものを机の上に置くこと。
- (4) 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身につけていること。
- (5) 試験時間中に携帯電話、時計等の音（着信音・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
- (6) 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (7) 試験会場において監督者の指示に従わないこと。
- (8) 志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
- (9) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

不正行為者には、ただちに試験の中止を命じ、既に受験した試験を無効とし、以後に実施される今年度の入学試験の受験を認めません。また、不正行為があった場合、警察に被害届を出す場合があります。

7. 再受験

受験した入試選抜で不合格になった場合、以下の条件で再受験ができます。

異なる区分の入試であれば再受験可能です。

例：第Ⅰ回総合型選抜に不合格となり、一般選抜を受験

同一入試区分での再受験はできません。

例：第Ⅰ回総合型選抜に不合格となり、第3回総合型選抜を受験

再受験を希望する方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

8. 合格発表

所定の合格発表日にWeb出願サイトのマイページで合否を確認できます。合格者・不合格者ともに合否結果の通知を郵送します。合格発表日から数日経過しても通知が未着の場合は、アドミッションセンターまでお問い合わせください。

9. 補欠者

第3回総合型選抜、第3回総合型選抜（オンライン）において補欠者を出すことがあります。補欠者は合格者ではなく、一般選抜第Ⅱ期の結果により入学を許可される可能性がある者です。補欠者の発表は第3回総合型選抜、第3回総合型選抜（オンライン）の合格発表時に行い、Web出願サイトのマイページ「おしらせ」とメールで通知し、文書にて通知をお送りします。補欠者の合格発表は、合格者・不合格者ともに一般選抜第Ⅱ期の合格発表と同時にを行います。合格発表日から数日経過しても通知が未着の場合は、アドミッションセンターまでお問い合わせください。なお、補欠者が入学を許可された場合でも、本学が指定した日までに入学手続を完了しなければ、入学資格を失います。

10. 入学手続・辞退手続

合格者は、入学手続締切日までに学生納付金を納入し、所定の書類を提出してください。締切日までに手続きが確認できない場合は、合格を取り消すことがあります。やむを得ない事情により入学手続締切日までに学生納付金を納入できない場合は、延納することが可能です。事前にアドミッションセンターまでご相談ください。

入学手続終了後に本学への入学を辞退する場合、2027年3月31日（水）までに申し出があれば、入学金を除いた納付金を返還します。

11. 受験上の合理的配慮

障がい等により受験上の合理的配慮を希望する方は、希望する入試区分の出願開始日1ヵ月前までにアドミッションセンターにメールでご連絡ください。

配慮申請の際には、診断書または障がい者手帳のコピーなどが必要です。

発達障がいまたは精神障がいの場合は、診断書の提出が必須です(障がい者手帳のコピーのみでは不十分)。

診断書については、以下の条件を満たしている必要があります。

- ・申請時から3か月以内に発行されたもの
- ・診断名・症状等が具体的に記載されているもの
- ・希望する配慮と配慮が必要な理由が記載されているもの

提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を決定し、個別にお知らせします。

なお、申請された配慮内容のすべてに対応できるとは限りません。

12. その他

(1) ミドル・シニア世代の方へ

本学では、社会人で学びを継続したい方、ミドル・シニア世代の方を歓迎します。1年次への入学、2年次・3年次への編入が可能です。

(2) 英語で学びたい方へ

本学は日本語で学ぶ春季入学／編入学の他に、卒業まで全て英語で学ぶことが可能な秋季入学／編入学があり、入試も全て英語で行います。秋季入学／編入学の学生募集要項は異なりますので、英語で学ぶことを考えておられる方は、下記までお問い合わせください。

(電話：0476-46-1131 メール：admission@tci.ac.jp 日本語/英語対応)

(3) 東京基督教大学卒業生の方へ

本学卒業生は学士再入学制度を利用できます。詳細はアドミッションセンターまでお問い合わせください。

(4) 在留資格「留学」について（外国籍の方へ）

【日本在住の外国籍の方】

本学合格後に在留資格を「留学」へ資格変更申請する場合、出入国在留管理庁に本学が発行する書類を提出する必要があります。必要な方は出願時または合格時にお問い合わせください。

【海外在住の外国籍の方】

本学合格後に在留資格「留学」を申請する方は、まず在留資格認定証明書交付申請が必要です。本学が代理で出入国在留管理庁に申請しますので、出願前にお問い合わせください。手続きには時間がかかりますので、総合型選抜（オンライン）・編入学者選抜（総合型オンライン方式）第1回または第2回の試験を受けてください。以降の入試を受験の場合、入学までに交付されない可能性があります。

日本語能力について

本学では春季入学／編入学を希望する日本語を母語としない方に、以下のいずれかの日本語能力を出願条件として求めています。

1. 日本語能力試験(N2 レベル)合格

日本語能力試験とは、国際交流基金と日本国際教育支援協会が実施している日本語能力をはかる試験です。日本国内及び海外で試験を実施しています。申込方法などの詳細は日本語能力試験公式ウェブサイト (<https://www.jlpt.jp/>) にてご確認ください。本学出願時に N2 レベルの「日本語能力試験認定結果及成績に関する証明書」の提出が必要です。

2. 日本留学試験「日本語」の「読解、聴解・聴読解」(400 点満点)で 200 点以上かつ「記述」(50 点満点)で 25 点以上の成績を有する

日本留学試験とは、独立行政法人日本学生支援機構が実施している外国人留学生として、日本の大学(学部)等に入学を希望する者について、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施する試験です。日本国内及び海外で試験を実施しています。日本留学試験には「日本語」以外に「理科」「総合科目」「数学」の科目がありますが、本学の出願に必要なのは「日本語」のみです。申込方法などの詳細は日本留学試験ウェブサイト (<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/index.html>) にてご確認ください。本学出願時に「読解、聴解・聴読解」(400 点満点)で 200 点以上かつ「記述」(50 点満点)で 25 点以上の「日本留学試験成績に関する証明書」の提出が必要です。

3. その他、本学が認める上記 1～2 と同等以上の日本語能力

高等学校や専門学校、短期大学、大学、大学院等の日本語による課程を卒業または卒業見込みの者などは上記 1～2 と同等以上の日本語能力を有すると認めます。該当者は出願時に日本国内の高等学校や専門学校、短期大学、大学、大学院等の日本語による課程の卒業証明書または卒業見込み証明書(高等学校の調査書含む)を提出ください。ただし、それ以外の者でも上記 1～2 と同等以上の日本語能力を有すると証明できる場合は、本学で出願を認める場合があります。その場合は必ず出願締め切り 1 ヶ月前までにアドミッションセンターまでご連絡ください。

個別入学資格審査

チャースクールやホームスクール等で学び、「高等学校卒業程度認定試験」に合格していない場合でも出願する方法があります。学校教育法施行規則第150条7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者」の規定により、本学では個別入学資格審査を実施しています。

1. 入学資格審査の対象者

- a. 高等学校を卒業していない者で、各種の学校における学修歴を有する者や社会における実務経験等を積んだ者で2027年3月31日までに18歳に達する者。(2027年4月1日に18歳の誕生日を迎える者を含む)
- b. 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者で2027年3月31日までに18歳に達する者。(2027年4月1日に18歳の誕生日を迎える者を含む)

2. 申請方法

Web出願サイトから個別入学資格審査申請書を入力し、以下の提出書類を郵送してください。

3. 提出書類

上記1のa.に該当する対象者

- (1) チャースクール、ホームスクール等の各学校における学修歴または社会における実務経験等を証明できるもの

上記1のb.に該当する対象者

- (1) 申請者の当該外国人学校における履修状況を証明できるもの
- (2) 当該外国人学校の卒業証明書又は卒業見込み証明書

4. 申請期間

原則として自分が出願を希望している入試の出願開始日1ヶ月前まで。

5. 審査方法

提出された申請に基づき書類審査及び面接試験を行います。審査により入学資格を認められた者には、Web出願サイトのマイページで申請承認結果を通知します。

6. 入学者選抜への出願について

個別入学資格審査申請書が承認された者は、本学が実施する入学者選抜（学校推薦型選抜以外）に出願することができます。

入学者選抜要項

※出願はすべて Web 出願サイトから行います。

総合型選抜

総合型選抜（オンライン）*海外在住者限定

学校推薦型選抜（公募制、指定校制）

一般選抜

出願資格【各選抜共通】

受洗後^{※1}キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者であり、次のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、および2027年3月卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および2027年3月修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該教育を修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - ③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2027年3月31日までに修了見込みの者。
 - ④ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑤ 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験(旧制度の大学入学資格検定を含む)に合格した者、および2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達する者。
 - ⑥ 本学における個別入学資格審査により、高等教育を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに18歳に達する者。12ページ参照。

※1 出願時にはやむを得ない事情により受洗できていないが、入学時までには受洗予定がある場合、出願が認められることがあります。ご相談ください。

なお、上記出願資格に加え、日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は11ページ参照。

総合型選抜

本学の総合型選抜は、書類審査、事前課題(小論文)、入試日当日の筆記試験「小論文」、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」、入試日の小論文では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。入試日の小論文は、事前にテーマ群とキーワード群を本要項に提示することにより、事前学習の機会としています。聖書の口頭試問では聖書の基礎知識を問います。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミSSION・ポリシーに適合するか審査します。

1. 出願資格

各選抜共通の出願資格(13ページ)を参照ください。

2. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 筆記試験〔小論文 90分〕

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

<試験要領>

当日、以下のテーマ群から1つのテーマが指定されます。また、キーワード群A・B・Cから各1つずつ(計3語)が指定されます。指定されたテーマについて、3つのキーワードをすべて用いて論述してください。

テーマ群	キーワード群A (神学・教会)	キーワード群B (社会・倫理)	キーワード群C (つながり・実践)
多文化共生社会	「聖書」「教会」 「福音主義」「超教派」 「世界宣教」 「実践的神学教育」	「人工知能(AI)」 「富」「人権」 「多様性」	「共同体」「隣人」 「奉仕」「和解」
気候変動			
世界の経済格差			
少子高齢化			

- ・指定されたキーワードを単に列挙するのではなく、相互に関連付けた論理的な記述を求めます。
- ・各テーマの現状や各語句の意義について、事前に十分学習しておいてください。
- ・聖書、辞書、参考書等の持ち込みは一切認められません。

(3) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミSSION・ポリシーに適合しているかを審査します。

3. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(火)～9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金)必着
第2回	10月1日(木)～10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着
第3回	12月1日(火)～12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木)必着

4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で 考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験（小論文）	知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者と コミュニケーションがとれる力				

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の入学検定料なしで別の入試日に振り替えることができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別日の入試への振り替えはできません。

総合型選抜（オンライン） ※海外在住者限定

本学の総合型選抜（オンライン）は、海外在住の出願者で希望する者がオンラインで受験できる選抜です。書類審査、事前課題（小論文）、提示される文章に関する口頭試問、聖書基礎知識に関する口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題（小論文）では「思考力・判断力・表現力」、口頭試問では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミSSION・ポリシーに適合するかを審査します。

1. 出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を参照ください。

2. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題（小論文）にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) オンライン口頭試問〔1人15分〕

入試日当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章について口頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) オンライン面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミSSION・ポリシーに適合しているかを審査します。

3. 入試日程

※海外在住で、日本国籍または日本での有効な在留資格を持っていない場合は、在留資格認定証明書交付申請手続きの関係上、第2回までの試験を受けてください。

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(火)～9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金)必着
第2回	10月1日(木)～10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着
第3回	12月1日(火)～12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木)必着

4. 評価方法・評価比重

アドミSSION・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	オンライン口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	提示される文章に関するオンライン口頭試問	知識・技能	30点	
		思考力・判断力・表現力	70点	
キリストへの献身	オンライン面接	アドミSSION・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

<オンラインでの受験について>

試験（口頭試問と面接）は、オンライン会議システムの Zoom を使用して実施します。

（１）事前準備

①インターネット接続環境

- ・インターネット接続環境と接続機器は必ず自身でご用意ください。
- ・インターネット接続の安定した静かな場所で受験してください。

② Zoom アプリのダウンロード

- ・受験で使用するインターネット接続機器（PC、タブレット等）に Zoom アプリをダウンロードしてください。PC の場合は、<https://zoom.us/>にアクセス、タブレットの場合は Apple Store や Google Play で Zoom アプリをダウンロードしてください。

③ Zoom 接続テスト

- ・Zoom 接続テスト日時は出願後メールにてお知らせします。Zoom のビデオで表示される名前は必ず受験者氏名(例：千葉 花子)にしてください。

（２）試験当日

- ①口頭試問及び面接の時間は、出願後、個別にメールにてお知らせします。日本時間 10:00～17:00 の間で実施しますので、この時間帯は必ず予定を空けておいてください。
- ②口頭試問と面接の間は、Zoom のビデオと音声を ON にしてください。
- ③口頭試問及び面接中に何かを参照することは禁止です。
- ④口頭試問の後、続けて面接試験を行います。途中休憩はありません。

（３）注意事項（ネットワークの不具合などが起きた場合）

- ・口頭試問では、回答中の問題は不具合が起きる前までで採点します。また 5 分以内に再接続できなかった場合、その後の口頭試問は全て 0 点となります。
- ・面接では、再接続後、継続して面接を行います。不具合が改善せず、入試日の 17:00 までに再接続できない場合は不具合が起きる前までの面接内容で採点します。
- ・明らかに大学側の原因でネットワーク等の不具合が起き、インターネット接続が回復しない場合は、電話による口頭試問および面接試験を行います。
- ・不可抗力によりネットワークの不具合が起き、入試日の 17:00 までに不具合が解消される見込みがない場合は、状況を確認した上で対応を検討します。

学校推薦型選抜（公募制）

本学の学校推薦型選抜（公募制）は、書類審査、事前課題（小論文）、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題（小論文）では「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。高等学校での学習成果も重視し、高等学校で培った「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を調査書によって評価します。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかを審査します。

1. 出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を持ち、かつ以下の各号のすべてに該当する者。

- (1) 日本の教育制度に基づく高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業または2027年3月卒業見込みの者。
- (2) 全体の評定平均値が3.5以上の専願者。
- (3) 在籍するまたは卒業した高等学校長の推薦を受けた者。

2. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題（小論文）にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手續締切日
11月2日(月)～11月12日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着

4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて 自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	調査書	知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意		主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度		
自分のことば(表現)で他者と コミュニケーションがとれる力				

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、オンライン面接に切り替えて実施します。オンライン面接の方法は、総合型選抜（オンライン）の方法に準じます（17ページ参照）。やむを得ない事情により試験日に受験できない場合は、別日程でオンライン面接を行います。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、オンライン面接への切り替えはできません。

学校推薦型選抜（指定校制）

本学の学校推薦型選抜（指定校制）は、書類審査、事前課題（小論文）、聖書の口頭試問、面接試験を組み合わせた選抜です。事前課題（小論文）では「思考力・判断力・表現力」を審査します。聖書口頭試問では聖書の基礎知識を問います。高等学校での学習成果も重視し、高等学校で培った「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を調査書によって評価します。面接試験では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合するかを審査します。

1. 出願資格

各選抜共通の出願資格（13ページ）を持ち、かつ以下の各号のすべてに該当する者。

- (1) 本学指定校[※]の高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業または2027年3月卒業見込みの者。
- (2) 全体の評定平均値が3.0以上の専願者。
- (3) 在籍するまたは卒業した高等学校長の推薦を受けた者。

※卒業・卒業見込みの高等学校が本学の指定校かどうかは本学ウェブサイトでご確認ください。

（トップページ→入学案内→入試案内→学部入試→学校推薦型選抜（公募制・指定校制））

2. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題（小論文）にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問（旧約聖書、新約聖書から各5問）、事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日	入学手續締切日
11月2日(月)～11月12日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着

4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	調査書	知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

事前課題（小論文）の評価内容・視点は、36ページ「事前課題（小論文）について」を参照ください。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、オンライン面接に切り替えて実施します。オンライン面接の方法は、総合型選抜（オンライン）の方法に準じます（17ページ参照）。やむを得ない事情により試験日に受験できない場合は、別日程でオンライン面接を行います。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、オンライン面接への切り替えはできません。

一般選抜

本学の一般選抜は、筆記試験の成績だけで可否を判定せず、筆記試験と同程度に書類審査と面接試験を重視します。事前課題(小論文)では「思考力・判断力・表現力」を審査します。書類審査、筆記試験(聖書)、面接試験ではアドミッション・ポリシーに適合するかどうか審査し、筆記試験(小論文)では高等学校までに身につけた基礎学力を審査します。

1. 出願資格

各選抜共通の出願資格(13ページ)を参照ください。

2. 選考方法

(1)書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2)筆記試験〔聖書40分、小論文90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…高等学校の国語(現代の国語、論理国語、国語表現)の範囲から出題し、「知識」、「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3)面接試験〔1人20分〕

事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

3. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第Ⅰ期	1月5日(火)～1月14日(木)	2月6日(土)	2月12日(金)	2月25日(木)必着
第Ⅱ期	2月1日(月)～2月16日(火)	3月6日(土)	3月10日(水)	3月18日(木)必着

4. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	筆記試験(聖書)	旧約聖書、新約聖書の基礎知識	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題(小論文)	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験(小論文)	知識、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

事前課題(小論文)の評価内容・視点は、36ページ「事前課題(小論文)について」を参照ください。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

第Ⅰ期の出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の検定料なしで第Ⅱ期の受験ができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、受験はできません。なお、第Ⅱ期については、当該年度の最終入試日程であり、振替可能な後続日程が存在しないため、振替措置は実施しません。

編入学者選抜要項

※出願はすべて Web 出願サイトから行います。

編入学者選抜

(総合型方式・総合型オンライン方式・一般方式)

○3 年次編入 教会教職専攻

○3 年次編入 教会教職専攻以外

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

○2 年次編入

編入学 者 選 抜 （ 3 年次編入 教会教職専攻 ）

対象：3 年次編入 教会教職専攻志望者

教会教職専攻では、明確な召命感を持ち、福音主義に立つ正統的な神学・敬虔な生活・深い人間理解・伝道と牧会の情熱と実践力を身につけ、国際的な視野を持って教会と地域に仕える教会教職者を養成します。本専攻の編入志望者には、4 年制大学卒業程度の論理的思考能力を求めます。総合型方式および一般方式の選抜を通して、聖書の基礎知識、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」やアドミッション・ポリシーに適合するかどうかを審査します。

出願資格

召命を受け、教会の承認を得、牧師・宣教師・伝道者・教会教育従事者・神学教師などをを目指す者で、受洗後、または、幼児洗礼の場合は信仰告白後 1 年を経た者で、次のいずれかの資格を満たす者。

- (1) 学士の学位を有する者及び2027年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (2) 大学の2年次を修了し、約60単位を目安に修得した者及び2027年3月までに修得見込みの者。
- (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者。
- (4) 修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校専門課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
- (5) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者。

※日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は 11 ページ参照。

入試方式

- | | |
|-----------------------|-----------|
| A 総合型方式 | (23ページ参照) |
| B 総合型オンライン方式 ※海外在住者限定 | (24ページ参照) |
| C 一般方式 | (25ページ参照) |

A. 総合型方式

1. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 筆記試験〔小論文 90分〕

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

<試験要領>

当日、以下のテーマ群から1つのテーマ、キーワード群から3つのキーワードが指定されます。指定されたテーマについて、3つのキーワードをすべて用いて論述してください。

テーマ群	キーワード群
1 教会の福音宣教	「伝道と教育」「聖書の価値観」「地域社会の必要」「高齢多死の社会」 「キリスト教と葬儀」「AI（人工知能）との共存」「心のケア」 「となり人への愛」「自然との共生」「多様性の尊重」 「希望のメッセージ」「社会への貢献」
2 デジタル社会と人間の尊厳	
3 環境破壊とわたしたちの責任	
4 孤独な社会と教会の役割	

- ・指定されたキーワードを単に列挙するのではなく、相互に関連付けた論理的な記述を求めます。
- ・各テーマの現状や各語句の意義について、事前に十分学習しておいてください。
- ・聖書、辞書、参考書等の持ち込みは一切認められません。

(3) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミSSION・ポリシーに適合しているかを審査します。

2. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(火)～9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金)必着
第2回	10月1日(木)～10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着
第3回	12月1日(火)～12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木)必着

3. 評価方法・評価比重

アドミSSION・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題(小論文)	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験(小論文)	(将来の)教職者としての知識・技能、思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミSSION・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

事前課題(小論文)の評価内容・視点は、36ページ「事前課題(小論文)について」を参照ください。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の入学検定料なしで別の入試日に振り替えることができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別日の入試への振り替えはできません。

B. 総合型オンライン方式 ※海外在住者限定

海外在住の出願者で希望する者が対象。17ページの＜オンラインでの受験について＞を参照。

1. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) オンライン口頭試問 [1人15分]

入試当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章について口頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) オンライン面接試験 [1人30分]

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミSSION・ポリシーに適合しているかを審査します。

2. 入試日程

※海外在住で、日本国籍または日本での有効な在留資格を持っていない場合は、在留資格認定証明書交付申請手続きの関係上、第2回までの試験を受けてください。

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(火)～9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金)必着
第2回	10月1日(木)～10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着
第3回	12月1日(火)～12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木)必着

3. 評価方法・評価比重

アドミSSION・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	オンライン口頭試問	旧約聖書5問 新約聖書5問	100点	50%
基礎的教養に基づいて自分で考え表現する力	事前課題(小論文)	思考力・判断力・表現力	100点	
	提示される文章に関するオンライン口頭試問	(将来の)教職者としての知識・技能	30点	
		(将来の)教職者としての思考力・判断力・表現力	70点	
キリストへの献身	オンライン面接	アドミSSION・ポリシーへの適合 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意				
自分のことば(表現)で他者とコミュニケーションがとれる力				

事前課題(小論文)の評価内容・視点は、36ページ「事前課題(小論文)について」を参照ください。

C. 一般方式

1. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 筆記試験〔聖書40分、小論文 90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) 面接試験〔1人20分〕

事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

2. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第Ⅰ期	1月5日(火)～1月14日(木)	2月6日(土)	2月12日(金)	2月25日(木)必着
第Ⅱ期	2月1日(月)～2月16日(火)	3月6日(土)	3月10日(水)	3月18日(木)必着

3. 評価方法・評価比重

アドミッション・ポリシー	評価方法	評価内容・視点	配点	評価比重
聖書の基礎知識	筆記試験（聖書）	旧約聖書、新約聖書の基礎知識	100点	50%
基礎的教養に基づいて 自分で考え表現する力	事前課題（小論文）	思考力・判断力・表現力	100点	
	筆記試験（小論文）	（将来の）教職者としての 思考力・判断力・表現力	100点	
キリストへの献身	面接	アドミッション・ポリシーへの適合	300点	50%
将来教会と社会に仕える志				
建学の精神と信仰基準への同意		主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度		
自分のことば(表現)で他者と コミュニケーションがとれる力				

事前課題(小論文)の評価内容・視点は、36ページ「事前課題(小論文)について」を参照ください。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

第Ⅰ期の出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の検定料なしで第Ⅱ期の受験ができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、受験はできません。なお、第Ⅱ期については、当該年度の最終入試日程であり、振替可能な後続日程が存在しないため、振替措置は実施しません。

編入学 者 選 抜 （ 2 年次および 3 年次〔教会教職専攻を除く〕 ）

対象：2年次編入志望者

3年次編入志望者(グローバル・スタディーズ専攻、ユース・スタディーズ専攻、
キリスト教福祉専攻、神学教養専攻)

編入志望者（教会教職専攻 3 年次編入志望者を除く）には、本学 1 年次入学者と同等の学力を求めます。総合型方式および一般方式の選抜を通して、聖書の基礎知識、「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」および本学アドミッション・ポリシーに適合するかどうかを審査します。

出願資格

受洗後キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者であり、次のいずれかの資格を満たす者。

- (1) 学士の学位を有する者及び2027年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (2) 大学の1年次を修了し、約30単位を目安に修得した者及び2027年3月までに修得見込みの者。
- (3) 大学の2年次を修了し、約60単位を目安に修得した者及び2027年3月までに修得見込みの者。
- (4) 大学の3年次を修了し、約90単位（内、本学で約30単位）を目安に修得した者及び2027年3月までに修得見込みの者。
- (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者。
- (6) 修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校専門課程を修了した者及び2027年3月修了見込みの者。
- (7) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者。
- (8) 高等学校等の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び2027年3月までに修了見込みの者。

※日本語を母語としない者は本学の求める日本語能力を持つ者であること。詳細は 111 ページ参照。

<単位認定と編入年次について>

他大学等で修得した単位が本学でどれだけ単位認定されるかによって編入年次が決まります。編入年次は合格発表時に通知します。出願前に編入可能年次を確認したい場合はアドミッションセンターまでご連絡の上、成績証明書をお送りください。

入試方式

- | | |
|-----------------------|-----------|
| A 総合型方式 | (27ページ参照) |
| B 総合型オンライン方式 ※海外在住者限定 | (28ページ参照) |
| C 一般方式 | (29ページ参照) |

A. 総合型方式

1. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 筆記試験〔小論文 90分〕

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

<試験要領>

当日、以下のテーマ群から1つのテーマが指定されます。また、キーワード群A・B・Cから各1つずつ(計3語)が指定されます。指定されたテーマについて、3つのキーワードをすべて用いて論述してください。

テーマ群	キーワード群A (神学・教会)	キーワード群B (社会・倫理)	キーワード群C (つながり・実践)
多文化共生社会	「聖書」「教会」 「福音主義」「超教派」 「世界宣教」 「実践的神学教育」	「人工知能(AI)」 「富」「人権」 「多様性」	「共同体」「隣人」 「奉仕」「和解」
気候変動			
世界の経済格差			
少子高齢化			

- ・指定されたキーワードを単に列挙するのではなく、相互に関連付けた論理的な記述を求めます。
- ・各テーマの現状や各語句の意義について、事前に十分学習しておいてください。
- ・聖書、辞書、参考書等の持ち込みは一切認められません。

(3) 面接試験〔1人30分〕

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミSSION・ポリシーに適合しているかを審査します。

2. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(火)～9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金)必着
第2回	10月1日(木)～10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着
第3回	12月1日(火)～12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木)必着

3. 評価方法・評価比重

15ページ「4. 評価方法・評価比重」参照。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の入学検定料なしで別日の入試に振り替えることができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、別入試日への振り替えはできません。

B. 総合型オンライン方式 ※海外在住者限定

海外在住の出願者で希望する者が対象。17ページの＜オンラインでの受験について＞を参照。

1. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) オンライン口頭試問 [1人15分]

入試日当日にオンライン上で提示される短い文章を受験生が朗読します。その後、その文章について口頭試問を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) オンライン面接試験 [1人30分]

聖書基礎知識の口頭試問(旧約聖書、新約聖書から各5問)、事前課題(小論文)の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

2. 入試日程

※海外在住で、日本国籍または日本での有効な在留資格を持っていない場合は、在留資格認定証明書交付申請手続きの関係上、第2回までの試験を受けてください。

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1回	9月1日(火)～9月17日(木)	10月17日(土)	11月2日(月)	11月13日(金)必着
第2回	10月1日(木)～10月15日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月14日(月)必着
第3回	12月1日(火)～12月10日(木)	1月9日(土)	1月15日(金)	1月28日(木)必着

3. 評価方法・評価比重

16ページ「4. 評価方法・評価比重」参照。

C. 一般方式

1. 選考方法

(1) 書類審査

Web 出願サイトに提出される書類により受験資格の有無等を審査します。また Web 出願サイトに提出する事前課題(小論文)にて「思考力・判断力・表現力」を審査します。課題の内容は本要項36ページまたは Web 出願サイトを参照ください。

(2) 筆記試験〔聖書40分、小論文 90分〕

聖書…新約聖書、旧約聖書の基礎知識を問う問題を出題します。

小論文…高等学校の国語（現代の国語、論理国語、国語表現）を土台にした問題を出題します。「思考力・判断力・表現力」を審査します。

(3) 面接試験〔1人20分〕

事前課題（小論文）の確認、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、本学のアドミッション・ポリシーに適合しているかを審査します。

2. 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第Ⅰ期	1月5日(火)～1月14日(木)	2月6日(土)	2月12日(金)	2月25日(木)必着
第Ⅱ期	2月1日(月)～2月16日(火)	3月6日(土)	3月10日(水)	3月18日(木)必着

3. 評価方法・評価比重

20ページ「4. 評価方法・評価比重」参照。

<学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対応>

第Ⅰ期の出願者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合、追加の検定料なしで第Ⅱ期の受験ができます。診断書の提出は求めませんが、試験日前日までに必ず連絡してください。連絡がない場合、受験はできません。なお、第Ⅱ期については、当該年度の最終入試日程であり、振替可能な後続日程が存在しないため、振替措置は実施しません。

学 生 納 付 金 （ 2 0 2 7 年 度 ）

初年度納付額

	独身寮	家族寮A(44㎡) IS, 2DK, B, T	家族寮B(39㎡) 2DK, B, T	家族寮C(37㎡) IS, 1DK, B, T	通学	入学手続時 最少納付額
入学金	¥140,000	¥140,000	¥140,000	¥140,000	¥140,000	¥140,000
授業料	¥705,000	¥705,000	¥705,000	¥705,000	¥705,000	¥235,000
施設費	¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥100,000
教育充実費	¥50,000	¥50,000	¥50,000	¥50,000	¥50,000	¥50,000
小計①	¥1,195,000	¥1,195,000	¥1,195,000	¥1,195,000	¥1,195,000	¥525,000
寮費	¥300,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000		¥212,000
家族寮加算分		¥315,000	¥255,000	¥210,000		
寮室電気料金	¥12,000					
食費	¥300,000					
小計②	¥612,000	¥615,000	¥555,000	¥510,000		¥212,000
合計（①+②）	¥1,807,000	¥1,810,000	¥1,750,000	¥1,705,000	¥1,195,000	¥737,000

※ S:スタディールーム, DK:ダイニングキッチン, B:風呂, T:トイレ

【注意事項】

- ・入学手続締切日までに初年度納付額または入学手続時最少納付額を納入してください。初年度納付額は、年3回（入学手続時・8月・12月）の分納が可能です。8月・12月の納付額についての詳細は別途通知します。
- ※ 家族寮入寮希望者は合格発表時にはどのタイプの部屋に入れるか未定のため、家族寮の初年度納付額ではなく、入学手続時最少納付額をお支払いください。部屋タイプごとに8月・12月に別途家族寮費を徴収します。
- ・学生納付金は年度ごとに改定する場合があります。また食費は物価変動に応じて年度の途中で改定する場合があります。

【学生納付金に含まれない費用】

- ①選択科目「English Intensive Study Abroad」・実習科目を履修する場合は、研修費用がかかります。
- ②選択科目「器楽等レッスン」を受講する場合、受講費用がかかります。
- ③家族寮は、退寮時の清掃費用として入学後に30,000円を徴収します。退寮時に経年劣化以外の修繕が生じた場合は別途費用がかかります。
- ④独身寮の寮費には、長期休暇中の滞在費は含まれていません。

* 高等教育の修学支援新制度

本学は、文部科学省が実施する『高等教育の修学支援新制度』の対象校です。本制度は、多子世帯および、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯の学生を対象に、授業料・入学金の免除または減額と、返還を要しない給付型奨学金を提供します。

本制度の詳しい情報については、文部科学省または日本学生支援機構（JASSO）のウェブサイトをご確認ください。

文部科学省 <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.html>

日本学生支援機構（JASSO） <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

奨 学 金 制 度

< 本学の奨学金 > 2026 年度給付実績 ※内容は変更される可能性があります。

学内奨学金（給付）	金 額（年額）	人数	備 考
東京国際基督教会奨学金	25万円	2名	学部生で卒業後に教会と社会に仕える高い志のある学生
ノア奨学金	最大50万円	10名	学部・大学院に在籍する留学生
恩澤会奨学金	30万円	4名	学部・教会教職課程もしくは大学院に在籍する学生
東京福音教会奨学金	30万円	1名	学部・教会教職課程もしくは大学院に在籍する学生

*入学後に申請。複数の学内奨学金の申請資格がある場合、複数申請可。

< 日本学生支援機構 >

貸与奨学金	金 額（月額）	人数	備 考
日本学生支援機構 第一種	20,000円 30,000円 40,000円 50,000円 64,000円 の中から選択 ※私立自宅外の場合	該当者	貸与奨学金(無利息)、成績 評定平均 3.5以上 最高月額の64,000円を希望する者は、家計支持者の年収が一定額以下である必要があります。 なお、給付奨学金と併せて利用する場合、支援区分等に応じて、貸与月額が減額されたり、0円となるなど調整される場合があります。
日本学生支援機構 第二種	20,000円～ 120,000円の うち1万円単位 で選択	該当者	貸与奨学金(有利子)、成績 平均以上

給付奨学金	金 額（月額）	人数	備 考
日本学生支援機構 給付型奨学金 (文部科学省 修学支援新制度)	第Ⅰ区分 75,800円+ 授業料等減免満額支援 第Ⅱ区分 50,600円+ 授業料等減免2/3支援 第Ⅲ区分 25,300円+ 授業料等減免1/3支援 多子世帯 19,000円+ 授業料等減免満額支援 ※月額は私立自宅外の場合 ※授業料減免は 最大70万円まで	該当者	給付奨学金 家計基準(日本学生支援機構HPにあるシミュレーターで該当するかどうかおおよそ判定可能)と学力基準を満たしている者が対象。また下記大学入学時期に関する資格を満たしていること。 ・ 高等学校等を初めて卒業した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していない人。 ・ 編入学する前に在学していた学校を卒業又は修了等した後1年以内に本学に編入学又は転学する人。 ただし、学士取得者は対象外。

*日本学生支援機構の奨学金は大学入学後に申し込みをする定期採用と大学入学前に申し込みできる予約採用の二種類があります。予約採用で申込希望の方は、卒業(卒業後 2 年以内)または在籍している高等学校又は専修学校(高等課程)にお問い合わせください。高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定に合格した人は、日本学生支援機構(0570-666-301)にお問い合わせください。

Web 出願について

※出願はすべて Web 出願サイトから行います。

Web 出願サイト



<https://admission.tci.ac.jp/>
(パソコンからの入力を推奨)

※各項目とも  一時保存 を押して内容を確認した後に  完了 を押して提出してください。

Web出願サイト

日本語 (ja)

あなたはログインしていません。 (ログイン)



東京基督教大学
TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY



東京基督教大学 Web出願サイトへようこそ

はじめに

このWebサイトは東京基督教大学への出願手続きをオンラインでおこなうためのWebサイトです。

出願手続は、出願期間内に「Web出願の登録」「出願書類の入力・提出」「入学検定料の支払い」「受験票の印刷」を全て行うことにより完了します。

「Web出願の登録」後、Webサイトの指示にしたがって各作業をおこなってください。

また、入学試験要項については以下からダウンロードし確認してください。

入学試験要項

出願手続の流れ

出願手続は以下の「STEP 1」から「STEP 5」までをおこないます。

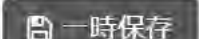
STEP 1 事前準備	STEP 2 Web出願の登録	STEP 3 出願書類の入	STEP 4 入学検定料の支	STEP 5 受験票の印刷
----------------	--------------------	------------------	-------------------	------------------

Web 出願に必要な情報

No.	項 目	対象者	説明・注意事項等
1	アカウントの作成	全員	メールアドレス、パスワード(8文字以上、アルファベット大文字・小文字・数字・記号をすべて使用)
2	基本情報	全員	氏名、半角フリガナ、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、出願者以外の緊急連絡先ほか。
3	顔写真	全員	デジタル写真(ファイル形式:JPEG、推奨サイズ:640×480 ピクセル、脱帽、無背景、正面上半身、3ヶ月以内に撮影したもの) ※顔写真は学生証にも使用します。
4	志願する課程	全員	出願資格を満たす者は「出願」を選択。 チャーチスクールやホームスクールなどで学び、高等学校卒業程度認定試験「合格成績証明書」のない者等は「個別入学資格審査」を選択。(本要項12ページ参照)
5	入学志願票	全員	入学区分、志望専攻、受験する入試区分を選択。
6	履歴書	全員	中学卒業後の学歴、職歴、所属教会の情報、受洗年月日、取得した資格ほか。 「入寮」または「通学」を選択。
7	自己紹介書	全員	教会や社会での活動や体験、自分の長所や短所など。 「志願理由と入学後の学びの目標」は800字以内。
8	所属教会牧師等推薦書 *	全員	推薦者の氏名、メールアドレスを入力。 ・推薦者は所属教会の牧師あるいは役員等指導的立場にある者。(日本語・英語のみ対応) ・推薦者に推薦書入力フォームのリンクがメールで届く。推薦者がWebから入力するので、入力期限等を含めて前もって推薦者に依頼すること。
9	キリスト者推薦書 *	全員	推薦者の氏名、メールアドレスを入力。 ・推薦者は客観的に志願者を評価できるキリスト者。ただし所属教会牧師等推薦書を書いた者と本人の3親等以内の親族は除く。(日本語・英語のみ対応) ・推薦者に推薦書入力フォームのリンクがメールで届く。推薦者がWebから入力するので、入力期限等を含めて前もって推薦者に依頼すること。
10	救いと献身の証し	全員	1,200字以上～2,000字以下でまとめること。
11	事前課題(小論文)	全員	事前課題小論文(全受験生共通)を1,800字以上～2,200字以内で作成。36ページ参照。 <u>生成AIの利用、他者による添削・指導不可。</u>
12	調査書または成績証明書等 ※開封無効	1年次 出願者	出願期間内に届くよう「高等学校調査書」または高等学校卒業程度認定試験「合格成績証明書」を郵送すること。 ・チャーチスクールまたはホームスクールを卒業(見込み)の者は上記に加えて在学期間に履修した科目等の内容、成績などがわかる書類を提出すること。 ・外国の高等学校を卒業(見込み)の者は「卒業(見込み)証明書」、「成績証明書」を提出すること。 ・調査書について保存期間終了等の理由で発行されない場合は、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出すること。

13	成績証明書・卒業証明書等	編入学者 選抜 出願者	(1)～(3)のうち自身の学歴に応じて指定された書類を提出すること。 (1)短大・高専・大学を卒業(見込み)者：①卒業(見込み)証明書 ②成績証明書 (2)専修学校卒(見込み)者：①卒業(見込み)証明書 ②成績証明書 ③卒業(見込み)の専修学校が大学編入学資格を満たす学校であることの証明書、または専門士資格取得証明書(卒業証明書にそれらが明記されている場合、卒業証明書で代替可) ④シラバス等の講義内容、単位数が記載されたもの(写し可) (3)高等学校等の専攻科修了(見込み)者：①修了(見込み)証明書 ②成績証明書 ③修了(見込み)の高等学校等の専攻科が大学編入学資格を満たす学校であることの証明書(修了証明書にそれらが明記されている場合、修了証明書で代替可) ④シラバス等の講義内容、単位数が記載されたもの(写し可) ・外国の課程を修了した者は、上記の書類に準ずるもの(和文または英文)を提出する。 ・高等学校調査書の提出を求める場合がある。 ・大学院在学者、修了者(見込み者)の場合でも、大学院のものではなく大学(学部)の成績証明書と卒業証明書を提出すること。
14	学校長推薦入学推薦書 *	学校推薦 型選抜 出願者	推薦書を依頼する先生の名前、メールアドレスを入力。 ・推薦者に推薦書入力フォームのリンクがメールで届く。推薦者がWebから入力するので、入力期限等を含めて前もって推薦者に依頼すること。
15	在留カード及び パスポートのコピー	外国籍者	在留カードの両面のPDFデータ。 パスポートは氏名の記載されたページのPDFデータ。
16	日本語能力を証明する証明書	日本語が 母語で ない者	詳細は11ページ「日本語能力について」参照。
17	受験料の支払	全員	出願締切日までにお支払いください。(8ページ参照) 入金の確認ができない場合は受験できません。 ・日本国内の方：指定の銀行口座に送金 ・海外在住の方：クレジットカード払い

* 推薦書の記入依頼メールは何度でも送信できますが、最後に送ったリンクのみ有効です。

※各項目とも  を押して内容を確認した後に  を押して提出してください。

個人情報の取り扱い

Web 出願サイトで提出された個人情報は、選抜の実施、合否発表、入学手続き、統計・分析、入学後教育指導上必要とされる範囲、またこれらに付随する事項を行うために適正な範囲で利用し、以上の目的以外には利用しません。

事前課題（小論文）について

事前課題（小論文）は全受験生各自が自宅等で取り組み、Web 出願サイトから提出する必須の課題です。学力評価の一つとして「思考力・判断力・表現力」を評価し、審査します。

（注意事項）

- ・必ず受験生自身が自分の力で作成してください。
- ・生成 AI の利用、他者による指導・添削は禁止します。

<事前課題（小論文）>

東京基督教大学の養成する人材像

「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」

本学では、聖書が語る神と人の関係の「破れ」と、そこから生じる人の世界の「破れ」（痛み、矛盾、溝など）の回復と修復のために「破れ口に立つ人」を育成することを目指しています。この見地に立ち、以下の質問に対するあなたの考えをまとめて、1800 字以上 2200 字以内で論じてください。

1. あなたの身近な所、社会、世界にはどのような「破れ」があるでしょうか。そしてあなた自身が「重荷」（使命）を持つことは何でしょうか。またその理由は何でしょうか。
2. キリストに倣って「破れ口」に立つために、キリストのしもべとして必要な聖書的視点や姿勢、実際的手段と行動、協力関係はどのようなものと考えますか。
3. あなたが「破れ口に立つ」ために、本学での学びにどのようなことを期待しますか。
4. 小論文にタイトルをつけてください。

<事前課題（小論文）の評価内容・視点>

①問題の把握と論理的展開	20 点
②日本語表現（語彙、文体、表現）	20 点
③クリスチャンとしての視点と視野	15 点
④聖書と教理の正しい理解	15 点
⑤独自性と結論の明確性	20 点
⑥字数を満たし十分論じられているか	10 点

キャンパスまでの交通のご案内

北総線

「千葉ニュータウン中央駅」下車

■南口バス乗り場

京成バス千葉セントラル 高花行き

「電話局」下車徒歩7分

■駅から徒歩25分



キャンパス（入学試験会場）のご案内

